

田辺かずきの 公約を意識した活動



医療・福祉の充実

介護政策の強化を実現、地域医療も前進



医療・介護を「公共」の最重要課題ととらえ、知事に対して地域に根差した介護の支援策を提案し、県独自の政策として「宅老所支援費」を創設。また、古賀が誇る国立病院機構・福岡東医療センターの体制強化を推進し、県として救命救急センターや感染症指定医療機関に指定しました。さらに、保健師の活動促進や買物弱者対策、デマンド型システムなど地域公共交通の再整備などを提案しています。



また、障がい者や難病患者などが利用する「まごころ駐車場」について県の関係施設への100%整備を実現。県立特別支援学校の充実・強化、幼少期における障がいの早期発見や療育体制の充実も促しています。

貧困・格差対策の充実と強化

親から子への「貧困の連鎖」を防止するために学習支援策の必要性などを提起し、県は新たな取り組みをスタート。引き続き、経済格差が学力格差につながる現実の解消のため、政策を提案していきます。

経済・農業振興

福岡を国際戦略総合特区に—古賀も指定

福岡県として政府の国際戦略総合特区への指定を目指し、知事らと議論。その後、指定が実現し、古賀駅周辺の一部もエリアに入りました。海外・アジア展開を目指す県内企業に助言するための新たな支援も実現。経営革新に取り組む中小企業の支援を充実・強化するよう求めてきました。引き続き、先端産業の育成や中小企業の金融支援などの振興策に取り組み、雇用確保に努めます。



観光とスポーツ振興では、外国人観光客の県内周遊促進と宿泊者増加や2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップ試合会場の福岡誘致に向け、取り組みを推進しました。

若手農業者支援の重要性を提起

農林水産業は日本の根幹であり、持続的発展を図ることは極めて重要な課題です。古賀の農業現場の実情を聞かせていただき、担い手の育成と活躍の観点から若手農業者支援の重要性を提起。果樹振興策の充実や、農工商連携・6次産業化の促進も求めています。さらに、食育の推進と県産農産物の消費拡大を目指し、小学校の調理実習における県産果実の活用も実現しています。



地域防災力の強化

古賀の各地で防災体制を構築

東日本大震災の教訓から、「私たちの命を守る」ための防災・減災体制の確立を目指しています。古賀市内各地で県のモデル事業が多く取り組まれ、自力避難が困難な高齢者ら災害時要援護者避難支援の個別計画策定や自主防災組織の設立、津波避難対策などが実現。さらに、公共施設等の耐震化や緊急避難場所の指定の促進、応急仮設住宅の指針策定、実効性ある備蓄の促進などを提起。原子力災害に備えた広域避難訓練の充実や可搬型の放射線測定機器「サーベイメータ」の県内配備も実現しました。



また、木造住宅耐震改修促進事業は、県内市町村の財政負担を県の補助要件としないように制度を改善し、市町村における制度の導入が飛躍的に進んでいます。

議会改革

県議選における「選挙公報」の発行を実現

福岡県議会議員選挙では、住民の皆さんが候補者の政見や経歴などを知るための「選挙公報」が発行されないという全国的にも特異な状況が続いていました。私から「発行すべき」と提案し、県議会全体の理解を得て、2015年4月の県議選から発行されることが決まりました。

また、議員提案による政策条例を全く作ってこなかった悪弊を改め、全国初となる罰則付きの飲酒運転撲滅条例や、社会問題化している危険ドラッグの規制条例を制定。県民の皆さんの安全で健康な暮らしの実現を図っています。

子育て支援・学力向上・女性の活躍

子どもの「ネット依存」対策に取り組むよう県に求め、保護者の方々に配布する県の冊子「子育て応援団」に対策のページを創設。子ども会育成会と青少年アンビシャス運動の活性化策や、子どもの学力向上に高い効果を実証している先進事例「学びの共同体」による授業改革を提案しています。

さらに、共働きで子育てをしている数少ない政治家として、男性の家事・育児参加促進や企業における管理職の意識改革・企業風土変革も推進しています。

環境を守る産業廃棄物行政の推進

産業廃棄物の適正処理の推進を知事に求め、実現してきました。不法投棄・処分を許さないため、県による監視体制のさらなる強化を図ります。また、循環型社会の形成を推進します。

福岡・北九州両空港の一体的運営を推進

混雑が常態化している福岡空港の対策として、滑走路の増設だけでなく、北九州空港との一体的運営によるハブ空港化を提言。これらを踏まえ、知事は「福岡県の空港の将来構想」と題して、両空港の役割分担と相互補完についてのビジョンを明らかにしました。引き続き、このビジョンの具体化を図り、アジアのゲートウェイとしての両空港の効果的な活用を推進していきます。

田辺かずきプロフィール

1980年5月16日生まれ(34歳)
出身 福岡県古賀市
家族 会社員の妻、7歳の長男、4歳の長女
信条 和を以て貴しとなす
好きなスポーツ ラグビー、水泳、テニス、野球
好きな音楽 サザンオールスターズ、椎名林檎、DREAMS COME TRUE
好きな作家 夏目漱石、平野啓一郎、山崎豊子、綿矢りさ
好きな漫画 手塚治虫の作品、島耕作シリーズ、「家裁の人」(原作・毛利甚八)、「博多っ子純情」(長谷川法世)
特技 珠算・暗算(花見そろばん教室OB)



1987年/暁の星幼稚園 卒園 幼少期、古賀子ども劇場会員
1993年/花鶴小学校 卒業 在学中、第2回古賀町少年の船に参加
1996年/古賀中学校 卒業 在学中、生徒会長を務める
1999年/福岡県立福岡高校 卒業(高51回)
2003年/慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社/福岡支局 配属 原簿事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
2006年/大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事(当時)、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などを取材
2011年/福岡県議会議員 初当選

2011年から現在
県議会での所属等
予算特別委員会/決算特別委員会/厚生労働環境委員会/新社会推進商工委員会/国際交流推進対策調査特別委員会/防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会【議員連盟】
スポーツ議員連盟(幹事)、文化議員連盟、果樹振興議員連盟、森林・林業・林産業活性化促進議員連盟、防衛議員連盟、日米友好議員連盟、日中友好議員連盟、タイ友好議員連盟など多数所属
【その他】
民主党・県政クラブ県議団所属 民主党青年委員会事務局次長
全国青年都道府県議会議員の会(福岡県世話人)

田辺かずき後援会事務所

〒811-3104 福岡県古賀市花鶴丘1丁目6-2

TEL 092-942-1186 FAX 092-942-1187
メール ▶▶▶▶ challenge@tanabe-kazuki.jp

田辺の政治活動を連日発信しています!

公式ホームページ▶▶▶▶▶ http://www.tanabe-kazuki.jp/
ブログ▶▶▶▶▶ http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/
Facebook▶▶▶▶▶ https://www.facebook.com/kazuki.tanabe
Twitterアカウント▶▶▶▶▶ @tanabe_kazuki